

## 機運盛り上がる



冬季国体PRのため、真夏に雪山が登場。子どもたちの歓声がこだましました。(平成23年8月13日撮影・飛騨高山ビッグアリーナ)

## 地元で協力隊を立ち上げ



ぎふ清流国体あさひ協力隊(朝日町)では「ぎふ清流国体あさひ協力隊」の設立総会のような様子です。丹生川町でも「冬季国体丹生川みなもり会」が結成されました。(平成22年12月14日撮影・同館)

## 市民総参加 心に残る大会、みんなが主役

## プレイバック 冬季国体スキー競技会

冬季国体を高山市で開催するにあたり、「輝け はばたけ 誰もが主役」の合言葉のもと、市民総参加のさまざまな取り組みが行われ、とりわけ、競技開催地の丹生川町と朝日町では、地域が一丸となった温かいおもてなしがありました。今号では、開催に至るまでの姿を写真で振り返ります。

## 同年代が心ひとつに



県立高山工業高校3年生の有志が、ライトアップ応援ボードを制作しました。(2月2日撮影・市役所)



全国から訪れる方々を温かく迎えるため、地元中学生が「応援のぼり旗」の制作を始めました。(平成23年9月14日撮影・荘川中学校)

## いよいよ100日前



冬季国体100日前にはカウントダウンボードが設置されました。(平成23年11月6日撮影・市役所)

## 開催直前！選手に元気を注入



出場選手激励会では園児がミナモダンスを披露。チョコレートで作った手作りメダルもプレゼント！(2月10日撮影・丹生川支所)

心温まるご協力  
本当にありがとうございました。  
ございました。



## 各地で 歓迎雪像づくり 相次ぐ



## 今度は9月の本大会に向けて、 一丸となって向かいましょう！

各地で住民総出の歓迎雪像づくりが行われました。その数はなんと60カ所以上にものぼります。(㊶2月4日撮影・久々野町柳島/㊵1月28日撮影・丹生川町町方)